

(12)濃厚血小板HLA-LR-20、照射濃厚血小板HLA-LR-20

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	16	0	16	0	0	0	2
100~299	27	0	27	0	0	0	3
300~499	16	0	16	0	0	0	2
500~	9	16	6	2	1	1	3
合計	68	16					

過去1年間(平成27年1月~平成27年12月)で、使用した血小板製剤のうち、外来での使用はありますか《全施設対象期間》

選択項目	件数	構成比
1はい	41	52.6%
2いいえ	37	47.4%
合計	78	100%
未回答	0	

1-130. 問1-130で「(1)ある」の場合、過去1年間(平成27年1月~平成27年12月)での外来で使用した血小板製剤の使用総袋(本)数を記入してください。

(1)濃厚血小板-LR-1、照射濃厚血小板-LR-1 該当なし
 (2)濃厚血小板-LR-2、照射濃厚血小板-LR-2 該当なし

(3)濃厚血小板-LR-5、照射濃厚血小板-LR-5

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	0	0	0	0	0	0	0
100~299	12	11	10	2	0	1	1
300~499	10	4	8	2	0	4	4
500~	8	11	5	3	0	3	3
合計	30	26					

(4)濃厚血小板-LR-10、照射濃厚血小板-LR-10

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~999	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	3	11	0	3	0	0	0
100~299	12	378	2	5	4	1	0
300~499	10	276	0	3	6	1	0
500~	9		0	0	3	5	1
合計	34	665					2

(5)濃厚血小板-LR-15、照射濃厚血小板-LR-15

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	2	0	2	0	0	0	0
100~299	12	5	11	1	0	0	1
300~499	10	146	4	4	1	1	4
500~	9	971	3	2	3	1	2
合計	33	1,122					

(4)濃厚血小板-LR-10、照射濃厚血小板-LR-10

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~999	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	18	413	1	10	5	2	0
100~299	30	1,708	0	9	17	4	0
300~499	18	2,823	0	1	8	9	0
500~	11	20,017	0	0	1	2	8
合計	77	24,961					1

(5)濃厚血小板-LR-15、照射濃厚血小板-LR-15

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	16	22	10	5	1	0	2
100~299	29	40	15	14	0	0	1
300~499	18	346	4	8	5	1	0
500~	11	2,574	0	2	4	5	1
合計	74	2,982					

(6)濃厚血小板-LR-20、照射濃厚血小板-LR-20

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	17	36	10	6	1	0	1
100~299	29	98	13	12	4	0	1
300~499	18	90	2	13	3	0	0
500~	11	798	0	2	6	3	1
合計	75	1,022					

(7)濃厚血小板HLA-LR-1、照射濃厚血小板HLA-LR-1
 (8)濃厚血小板HLA-LR-2、照射濃厚血小板HLA-LR-2
 (9)濃厚血小板HLA-LR-5、照射濃厚血小板HLA-LR-5
 該当なし

(10)濃厚血小板HLA-LR-10、照射濃厚血小板HLA-LR-10

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~49	50~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	16	0	16	0	0	0	2
100~299	28	4	26	2	0	0	2
300~499	18	90	16	1	0	1	0
500~	10	571	3	0	5	2	2
合計	72	665					

(11)濃厚血小板HLA-LR-15、照射濃厚血小板HLA-LR-15

病床数	施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
			0	1~9	10~	100~	
0	0	0	0	0	0	0	0
1~19	0	0	0	0	0	0	0
20~99	16	0	16	0	0	0	2
100~299	28	0	28	0	0	0	2
300~499	18	0	18	0	0	0	0
500~	10	96	6	2	2	2	2
合計	72	96					

1-133. 圖1-132で(1)、あるの場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の血小板製剤の廃棄総袋(本)数を記入してください(全施設対象機関)

- (1)濃厚血小板-LR-1, 照射濃厚血小板-LR-1 該当なし
 (2)濃厚血小板-LR-2, 照射濃厚血小板-LR-2 該当なし

(3)濃厚血小板 LR-5, 照射濃厚血小板 LR-5 n=28

病床数	施設数	総袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	0	0	0	0	0	
100~299	7	0	7	0	0	
300~499	11	4	9	2	0	
500~	6	2	4	2	3	
合計	24	6	6	2	0	

(4)濃厚血小板 LR-10, 照射濃厚血小板 LR-10 n=28

病床数	施設数	総袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	0	0	0	0	0	
100~299	7	13	2	5	0	
300~499	11	23	0	11	0	
500~	8	66	0	5	1	
合計	26	102	0	3	0	

(5)濃厚血小板 LR-15, 照射濃厚血小板 LR-15 n=28

病床数	施設数	総袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	0	0	0	0	0	
100~299	7	0	7	0	0	
300~499	11	1	10	1	0	
500~	8	9	3	5	1	
合計	26	10	3	5	0	

(6)濃厚血小板 LR-20, 照射濃厚血小板 LR-20 n=28

病床数	施設数	総袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	0	0	0	0	0	
100~299	7	1	6	1	0	
300~499	11	3	9	2	0	
500~	7	2	5	2	2	
合計	25	6	5	2	0	

- (7)濃厚血小板 HLA-LR-1, 照射濃厚血小板 HLA-LR-1
 (8)濃厚血小板 HLA-LR-2, 照射濃厚血小板 HLA-LR-2
 (9)濃厚血小板 HLA-LR-5, 照射濃厚血小板 HLA-LR-5
 (10)濃厚血小板 HLA-LR-10, 照射濃厚血小板 HLA-LR-10
 (11)濃厚血小板 HLA-LR-15, 照射濃厚血小板 HLA-LR-15
 (12)濃厚血小板 HLA-LR-20, 照射濃厚血小板 HLA-LR-20
 該当なし

(6)濃厚血小板 LR-20, 照射濃厚血小板 LR-20

病床数	施設数	使用袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~99	100~	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	2	0	2	0	0	
100~299	12	30	9	2	1	
300~499	10	2	8	2	4	
500~	9	33	5	3	2	
合計	33	65	3	1	0	

- (7)濃厚血小板HLA-LR-1, 照射濃厚血小板HLA-LR-1
 (8)濃厚血小板HLA-LR-2, 照射濃厚血小板HLA-LR-2
 (9)濃厚血小板HLA-LR-5, 照射濃厚血小板HLA-LR-5
 該当なし

(10)濃厚血小板HLA-LR-10, 照射濃厚血小板HLA-LR-10

病床数	施設数	使用袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~49	50~	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	2	0	2	0	0	
100~299	12	5	10	2	1	
300~499	10	79	9	0	4	
500~	8	81	3	1	3	
合計	32	165	3	1	0	

(11)濃厚血小板HLA-LR-15, 照射濃厚血小板HLA-LR-15

病床数	施設数	使用袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	2	0	2	0	0	
100~299	12	0	12	0	1	
300~499	10	0	10	0	4	
500~	7	28	5	1	4	
合計	31	28	5	1	0	

(12)濃厚血小板HLA-LR-20, 照射濃厚血小板HLA-LR-20

病床数	施設数	使用袋(本)数				未回答
		0	1~9	10~	廃棄袋(本)数	
0	0	0	0	0	0	
1~19	0	0	0	0	0	
20~99	2	0	2	0	0	
100~299	12	0	12	0	1	
300~499	10	0	10	0	4	
500~	7	3	6	1	4	
合計	31	3	6	1	0	

1-132. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、使用せずに廃棄した血小板製剤はありますか
 《全施設対象機関》

選択項目	件数	構成比
1 はい	27	35.1%
2 いいえ	50	64.9%
合計	77	100%
未回答	45	

1-137. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、使用せずに廃棄した、血液製剤はありますか
《全施設対象期間》

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	55	74.3%
2 破損	19	25.7%
3 保管管理不良	74	100%
4 転用ができない	48	
5 その他		
未回答		

1-138. 間1-137で「(1)、はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で廃棄した、血液製剤の使用総袋
(本)数を記入してください。**《全施設対象期間》**

(1)新鮮凍結血漿 LR-1・LR-120

施設数	総袋(本)数	廃棄袋(本)数			未回答
		0	1～9	10～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	7	3	5	2	0
100～299	18	15	2	1	2
300～499	15	5	13	2	0
500～	10	30	4	5	2
合計	50	53			

(2)新鮮凍結血漿 LR-2・LR-240

施設数	総袋(本)数	廃棄袋(本)数			未回答
		0	1～9	10～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	8	63	2	3	0
100～299	20	94	5	13	2
300～499	15	162	3	5	0
500～	11	200	0	4	1
合計	54	519			

(3)新鮮凍結血漿 LR-480

施設数	総袋(本)数	廃棄袋(本)数			未回答
		0	1～9	10～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0
20～99	7	41	6	0	1
100～299	18	13	12	6	2
300～499	15	37	9	5	0
500～	10	23	4	6	2
合計	50	114			

1-139. 血液製剤を廃棄した要因は 複数回答 **《全施設対象期間》**

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	48	56.5%
2 破損	14	16.5%
3 保管管理不良	6	7.1%
4 転用ができない	15	17.6%
5 その他	2	2.4%
未回答	85	100.0%

その他(原文ママ):
 副作用出現、容態悪化
 溶解不足(ク)オプレシビテートによるつまり)

1-134. 血小板製剤を廃棄した要因は 複数回答 **《全施設対象期間》**

選択項目	件数	構成比
1 有効期限切れ	20	48.8%
2 破損	2	4.9%
3 保管管理不良	2	4.9%
4 転用ができない	16	39.0%
5 その他	1	2.4%
未回答	41	100.0%

その他(原文ママ):
 患者死亡のため

1-135. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、血液製剤を使用しましたか **《全施設対象期間》**

選択項目	件数	構成比
1 はい	74	62.2%
2 いいえ	45	37.8%
合計	119	100%
未回答	3	

1-136. 間1-135で「(1)、はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、血液製剤の使用総袋
(本)数を記入してください。**《全施設対象期間》**

(1)新鮮凍結血漿 LR-1・LR-120

施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数			未回答
		0	1～9	10～	
0	0	0	0	0	0
1～19	1	2	1	0	0
20～99	15	10	3	0	0
100～299	28	111	5	2	0
300～499	16	92	8	2	1
500～	10	726	3	1	3
合計	70	941			2

(2)新鮮凍結血漿 LR-2・LR-240

施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
		0	1～9	10～99	100～999	
0	0	0	0	0	0	0
1～19	7	0	1	0	0	0
20～99	15	209	6	7	0	0
100～299	29	2,587	2	8	14	4
300～499	17	4,074	1	2	5	8
500～	11	18,793	0	1	1	3
合計	73	25,670				6

(3)新鮮凍結血漿 LR-480

施設数	総袋(本)数	使用袋(本)数				未回答
		0	1～9	10～99	100～999	
0	0	0	0	0	0	0
1～19	1	0	1	0	0	0
20～99	15	31	10	3	2	0
100～299	27	314	14	5	8	0
300～499	15	956	4	3	6	2
500～	11	3,351	1	1	3	4
合計	69	4,652				2

18) FFP融解後の使用期限について

1-144. FFPの融解を輸血部門で行っているか《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 行なっている	27	45.8%
2 行っていない	32	54.2%
合計	59	100%
未回答	6	

1-145. FFP融解後の使用期限が「融解後3時間以内」であることを知っているか《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 知っている	57	96.6%
2 知らない	2	3.4%
合計	59	100%
未回答	6	

1-146. 知っていた場合は使用期限が「融解後3時間以内」であることにより、輸血医療が滞りかかった(例:使用中または使用開始時に融解後3時間を越えてしまった、他の治療が遅れたなど)ことがあるか《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 ある	10	17.5%
2 ない	47	82.5%
合計	57	100%
未回答	0	

その他(原文ママ):

- ・使用中または使用開始時に融解後3時間を越えてしまった
- ・輸血速度が遅い
- ・FFP-LP240を本使用予定で一度に融解したが、1本目の投与に時間がかかり2本目の開始が3時間を越えてしまい廃棄となった
- ・溶かさずタイミングを間違えた。使用薬剤が多いときなど

1-147. 使用時点で融解後3時間を越えてしまった場合の対応《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 廃棄した	3	30.0%
2 そのまま使用した	5	50.0%
3 病棟で融解しているため不明	0	0.0%
4 該当事例なし	0	0.0%
5 その他	2	20.0%
合計	10	80%
未回答	55	

その他(原文ママ):

- ・新生児科では120ml薬剤でも全量輸血するのに非常に時間がかかるため、融解後5時間まで使用し残液分は廃棄している。
- ・因子効果を見ながら、使用継続、中止の検討をする

17) 血液照射について

1-140. 血液照射専用の放射線照射装置を配置していますか?《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 X線血液照射装置を配置している	3	4.9%
2 γ線血液照射装置を配置している	3	4.9%
3 いずれ	55	90.2%
合計	61	100.0%
未回答	4	

1-141. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤がありましたか《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	2	1.7%
2 いいえ	118	98.3%
合計	120	100%
未回答	2	

1-142. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に購入した日赤未照射製剤の製剤別単位数を記入してください

購入した日赤未照射製剤総量(単位)

(1) 年間日赤未照射製剤の購入総量(赤血球製剤: 単位)

施設数	総単位数
2	16,111

(2) 年間日赤未照射製剤の購入総量(血小板製剤: 単位)

該当なし

(3) 年間日赤未照射製剤の院内未照射輸血量(赤血球製剤: 単位)

施設数	総単位数
2	86

(4) 年間日赤未照射製剤の院内未照射輸血量(血小板製剤: 単位)

該当なし

1-143. 日赤未照射製剤を院内で照射が行なえなかった理由は、複数回答《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	2	100.0%
2 時間外に院内照射を行なう体制がないため	0	0.0%
3 放射線照射装置の故障のため	0	0.0%
4 血小板の予防のため	0	0.0%
5 その他	2	100.0%

1-152. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、外来輸血で輸血後に帰宅してから経験したことがある副作用様
 数回答(全施設対象期間)

	0床	1～19床	20～99床	100～299床	300～499床	500床～	計
1 発熱	0	0	0	1	0	1	2
2 悪寒・戦慄	0	0	1	0	0	0	1
3 熱感・ほてり	0	0	1	0	0	0	1
4 疲労感・かゆみ	0	0	0	0	0	0	0
5 発赤・顔面紅潮	0	0	1	0	0	0	1
6 発疹・尋麻疹	0	0	1	2	0	2	5
7 呼吸困難	0	0	0	0	0	0	0
8 嘔気・嘔吐	0	0	0	0	0	0	0
9 胸痛・腰痛・腰部痛	0	0	0	0	0	0	0
10 頭痛・頭重感	0	0	0	0	0	0	0
11 血圧低下	0	0	0	0	0	0	0
12 血圧上昇	0	0	1	0	0	0	1
13 動悸・頻脈	0	0	0	0	0	0	0
14 血管痛	0	0	0	1	0	0	1
15 蕁麻疹	0	0	0	0	0	0	0
16 赤褐色尿	0	0	0	0	0	0	0
17 その他	0	1	0	1	0	0	2

1-153. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、外来輸血で帰宅後に発生した輸血副作用への対応について(全
 施設対象期間)

選択項目	施設	構成比
1 連携医療機関で対応してもらった	0	0.0%
2 近隣救急センターを利用してもらった	0	0.0%
3 救急外来で対応した	2	6.7%
4 翌日に外来を受診してもらった	3	10.0%
5 往診した	0	0.0%
6 電話連絡のみで済ませた	4	13.3%
7 連絡はなかった	18	60.0%
8 連絡を受ける体制がない	1	3.3%
9 その他	2	6.7%
合計	30	100%

19) 外来輸血マニュアルについて
 1-148. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、外来にて輸血をおこないましたが(但し、救急外来での輸血は
 除く)

選択項目	件数	構成比	輸血件数				未回答	
			1～99	100～499	500～999	1000～		
1 はい	68	57.6%	1	0	0	0	0	
2 いいえ	50	42.4%	1	1	0	0	1	
合計	118	100%	2	1	0	0	1	
未回答	4		8	16	0	0	8	
			14	2	0	0	7	
			2	2	3	0	8	
			11	0	3	0	2	6

1-149. 外来輸血の実施場所 複数回答(100床以上対象期間)

選択項目	件数	構成比
1 外来処置室	44	78.6%
2 外来の空いている診察室	4	7.1%
3 輸血部のベッド	0	0.0%
4 病棟の空きベッド	1	1.8%
5 その他	7	12.5%
合計	56	100%

1-150. 外来にて輸血する際のマニュアルは作成していますか(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
1 作成している	46	89.7%
2 作成する予定である	9	13.6%
3 作成する予定はない	11	16.7%
合計	66	100%
未回答	56	

1-151. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、外来輸血時に院内で経験したことがある副作用 複数回答(全
 施設対象期間)

	0床	1～19床	20～99床	100～299床	300～499床	500床～	計
1 発熱	0	0	1	2	5	7	15
2 悪寒・戦慄	0	1	1	1	4	3	10
3 熱感・ほてり	0	0	1	1	2	2	6
4 疲労感・かゆみ	0	0	0	3	4	8	15
5 発赤・顔面紅潮	0	0	0	2	2	4	8
6 発疹・尋麻疹	0	0	1	4	4	9	18
7 呼吸困難	0	0	0	0	0	2	2
8 嘔気・嘔吐	0	0	0	0	2	2	4
9 胸痛・腰痛・腰部痛	0	0	0	0	0	0	0
10 頭痛・頭重感	0	0	0	1	2	2	5
11 血圧低下	0	0	0	1	0	1	2
12 血圧上昇	0	0	1	0	1	0	2
13 動悸・頻脈	0	0	0	0	0	0	0
14 血管痛	0	0	1	1	0	0	2
15 蕁麻疹	0	0	0	0	0	0	0
16 赤褐色尿	0	0	0	0	0	0	0
17 その他	0	1	1	2	0	1	5

21)大量出血時の輸血について

1-167. 平成27年1月～平成27年12月の期間で大量出血のため1日につきRBC10単位以上輸血した症例はありますか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	31	26%
2 いいえ	90	74%
合計	121	100%
未回答	1	

1-168. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して新鮮凍結血漿を使用しましたか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	30	97%
2 いいえ	1	3%
合計	31	100%
未回答	91	

1-169. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対してクリオプレシテートを使用しましたか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	0	0%
2 いいえ	29	100%
合計	29	100%
未回答	93	

1-170. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対してフィブリノゲン濃縮製剤を使用しましたか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	6	21%
2 いいえ	22	79%
合計	28	100%
未回答	94	

1-171. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に対して使用可能なクリオプレシテートとフィブリノゲン濃縮製剤のどちらが良いとおもいますか《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 クリオプレシテート	1	5%
2 フィブリノゲン濃縮製剤	9	45%
3 どちらでも良い	10	50%
合計	20	100%
未回答	102	

1-172. RBC10 単位以上使用した症例のうちクリオ・フィブリノゲン製剤の選択と考えられた症例がありましたか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 あった	11	61%
2 なかった	7	39%
合計	18	100%
未回答	104	

20)病院外(介護施設・在宅)輸血について

1-154. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、病院外(介護施設・在宅)で輸血を行いましたか
《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	121	100%
2 いいえ	0	0%
関連病院と連携して介護施設・在宅面方で実施した	0	0%
関連病院と連携して介護施設で実施した	0	0%
関連病院と連携して在宅で実施した	0	0%
関連病院と連携なく介護施設・在宅面方で実施した	0	0%
関連病院と連携なく介護施設で実施した	0	0%
関連病院と連携なく在宅で実施した	0	0%
合計	121	100%
未回答	1	

1-155. 病院外で輸血を実施した患者さんに特別な理由がありますか、複数回答《全施設対象設問》

1-156. インフォームド・コンセント(IC)について

1-157. 病院外(介護施設・在宅)輸血を行う場合に文書同意は検査を実施していますか《全施設対象設問》

1-158. 輸血の実施者は誰ですか、複数回答《全施設対象設問》

1-159. 病院外(介護施設・在宅)輸血後の患者観察(5分後、15分後)は行っていますか
《全施設対象設問》

1-160. 輸血中に付添う医療従事者は誰ですか、複数回答《全施設対象設問》

1-161. 輸血終了時に抜針をするのは誰ですか、複数回答《全施設対象設問》

1-162. 輸血バッグの廃棄方法は《全施設対象設問》

1-163. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に行った病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数は
《全施設対象設問》

1-164. 輸血前後の感染検査(HBV、HCV、HIV)は《全施設対象設問》

1-165. 輸血前後の検体保存は《全施設対象設問》

1-166. 病院外(介護施設・在宅)輸血後の副作用発症時の対応策は決めていますか《全施設対象設問》

該当なし

1-177. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、使用せずに廃棄した貯血式自己血はありますか

選択項目	件数	構成比
1 ある	42	76%
2 ない	13	24%
合計	55	100%
未回答	0	

1-178. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で廃棄した、貯血式自己血の総袋(本)数を記入してください。(全施設対象期間)

(1)年間廃棄量 貯血式自己血(200mL)

施設数	総袋(本)数	廃棄総袋(本)数			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	5	2	3	0	3
100～299	12	2	10	0	7
300～499	14	27	7	6	2
500～	9	20	0	9	0
合計	40	51			

(2)年間廃棄量 貯血式自己血(400mL)

施設数	総袋(本)数	廃棄総袋(本)数			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	5	39	0	4	3
100～299	13	125	0	10	6
300～499	14	520	0	7	2
500～	9	512	0	2	2
合計	41	1,196			

1-178. 自己フィブリン糊を制作していますか【全施設対象期間】

選択項目	件数	構成比
1 作成している	2	4%
2 いいえ(将来作成予定)	10	19%
3 いいえ(今後も作成する予定がない)	41	77%
合計	53	100%
未回答	2	

1-180. 自己フィブリン糊を使用している診療科は 複数回答は 複数回答【全施設対象期間】

選択項目	件数
1 整形外科	1
2 心臓血管外科	0
3 脳神経外科	0
4 産科・婦人科	0
5 消化器外科	0
6 歯科・口腔外科	0
7 呼吸器外科	0
8 泌尿器科	0
9 耳鼻科	1
10 その他	0

22)自己血製剤使用の実績について

1-173. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、自己血(貯血式)を使用しましたか【全施設対象期間】

選択項目	件数	構成比
1 はい	55	46%
2 いいえ	64	54%
合計	119	100%
未回答	3	

1-174. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の貯血式自己血採血の症例数(実患者数)は【全施設対象期間】

施設数	総症例数	症例数(実患者数)			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	8	183	0	4	0
100～299	18	467	0	5	1
300～499	16	1,681	0	2	7
500～	10	1,600	0	0	2
合計	52	3,831			

1-175. (平成27年1月～平成27年12月)の貯血式自己血採血の総件数は【全施設対象期間】

施設数	総件数	総件数			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	8	263	0	2	0
100～299	19	1,028	0	5	10
300～499	16	2,964	0	2	5
500～	10	2,788	0	0	2
合計	53	7,043			

1-176. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、貯血式自己血の使用総袋(本)数を記入してください。(全施設対象期間)

(1)年間使用量 貯血式自己血(200mL)

施設数	使用総袋(本)数	使用総袋(本)数			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	8	9	5	3	0
100～299	17	159	11	3	0
300～499	16	427	6	6	3
500～	10	108	2	3	5
合計	51	703			

(2)年間使用量 貯血式自己血(400mL)

施設数	使用総袋(本)数	使用総袋(本)数			未回答
		1～9	10～99	100～	
0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	1
20～99	8	23	0	4	3
100～299	19	740	1	4	13
300～499	16	2,638	0	2	6
500～	10	1,960	0	0	3
合計	53	5,361			

1-181. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)貯血式自己血輸血の実績(実際に輸血されたもの)
《全施設対象設問》

(1) 全血:単位		施設数				単位	施設数	単位	施設数	単位	施設数	未回答
		0	1～9	10～99	100～	0	1～9	10～99	100～	0	1～9	100～
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～99	7	388	0	2	3	2	1	1	1	1	1	1
100～299	19	1,596	1	3	8	7	0	0	0	0	0	0
300～499	15	4,726	0	2	3	10	1	1	1	1	1	1
500～	10	3,988	0	0	2	8	1	1	1	1	1	1
合計	51	10,708										

(2) MAP:単位		施設数				単位	施設数	単位	施設数	単位	施設数	未回答
		0	1～9	10～99	100～	0	1～9	10～99	100～	0	1～9	100～
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～99	5	0	5	0	0	0	3	3	3	3	3	3
100～299	16	55	15	0	1	0	0	0	0	0	7	7
300～499	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	7	7
500～	9	102	7	0	2	0	2	2	2	2	2	2
合計	39	157										

(3) FFP:単位		施設数				単位	施設数	単位	施設数	単位	施設数	未回答
		0	1～9	10～99	100～	0	1～9	10～99	100～	0	1～9	100～
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～99	5	0	5	0	0	0	3	3	3	3	3	3
100～299	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	7	7
300～499	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	7	7
500～	9	98	7	0	2	0	2	2	2	2	2	2
合計	39	98										

(4) フィブリン糊:単位		施設数				単位	施設数	単位	施設数	単位	施設数	未回答
		0	1～9	10～99	100～	0	1～9	10～99	100～	0	1～9	100～
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～99	5	0	5	0	0	0	3	3	3	3	3	3
100～299	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0	7	7
300～499	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	7	7
500～	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	38	0										

(5) 血小板糊:単位		施設数				単位	施設数	単位	施設数	単位	施設数	未回答
		0	1～9	10～99	100～	0	1～9	10～99	100～	0	1～9	100～
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～99	5	0	5	0	0	0	3	3	3	3	3	3
100～299	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0	7	7
300～499	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	7	7
500～	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	38	0										

1-182. 静脈穿刺しているのは誰ですか《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 医師(医師は歯科医師を含む)	29	53%
2 看護師	13	24%
3 医師及び看護師	13	24%
4 臨床検査技師	0	0%
5 その他	0	0%
合計	55	100%
未回答		

1-183. 問1-182で(1)又は(3)の場合、静脈穿刺している医師は《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 輸血部門の医師	2	5%
2 担当医	36	88%
3 輸血部門の医師および担当医	2	5%
4 その他	1	2%
合計	41	100%
未回答	1	

1-184. 問1-182で(2)又は(3)の場合、静脈穿刺している看護師は 複数回答《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 自己採血専任の看護師	5	18%
2 非常勤の看護師	2	7%
3 その他の看護業務と兼任の看護師	20	71%
4 看護師はいない	1	4%
合計	28	100%
未回答	5	

1-185. 学会認定・自己血輸血看護師制度について 複数回答《100床以上対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 現在申請中	1	2%
2 将来取得したいと思っている	6	14%
3 知っているが制度の詳細がよくわからない	2	5%
4 今後の状況を見て判断する	21	50%
5 関心がない	1	2%
6 知らなかったので調べてみる	2	5%
7 自己血輸血学会認定・自己血輸血看護師がいる	9	21%
合計	42	100%
未回答	5	

1-186. 貯血式自己血の保管管理されている場所はどこですか《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 輸血部門	12	22%
2 薬剤部	1	2%
3 検査室	37	69%
4 病棟	4	7%
5 外来	0	0%
6 日赤血液センター	0	0%
7 その他	0	0%
合計	54	100%
未回答	1	

1-187. 自己血輸血使用時に検査として何を実施していますか 複数回答《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 ABO型確認のみ	21	35%
2 交差適合試験	11	18%
3 ABO型確認と交差適合試験	17	28%
4 コンピューターフロースマッチ	4	7%
5 未検査	6	10%
6 その他	1	2%
合計	60	100%
未回答	1	

1-188. 自己血輸血に関するマニュアルはありますか 《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	48	91%
2 いいえ	5	9%
合計	53	100%
未回答	2	

1-189. 血管迷走神経反射(VVR)に関するマニュアルはありますか 《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 はい	40	74%
2 いいえ	14	26%
合計	54	100%
未回答	1	

1-190. 輸血部門として自己血関連業務で関わっているものはありますか 複数回答 《全施設対象設問》

選択項目	件数	構成比
1 自己血採取場所の確保	8	4%
2 自己血採取補助	25	11%
3 自己血採取の備品管理	30	14%
4 自己血の保管管理	48	22%
5 自己血の外観検査	40	18%
6 自己血の容量確認	32	15%
7 自己血輸血の副作用の管理	33	15%
8 関わっていない	3	1%
合計	219	100%
未回答	4	

1-191. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか 《全施設対象設問》

(1)年間血管迷走神経反射(VVR)I度の発生件数

病床数	血管迷走神経反射(VVR)I度の発生件数/年					未回答
	施設数	発生総数	0	1～4	5～9	
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	0
20～99	6	2	5	1	0	1
100～299	12	1	11	1	0	2
300～499	13	5	11	2	0	7
500～	7	15	3	3	1	3
合計	38	23				4

(2)年間血管迷走神経反射(VVR)II度の発生件数

病床数	血管迷走神経反射(VVR)II度の発生件数/年					未回答
	施設数	発生総数	0	1～4	5～9	
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	1
20～99	6	0	6	0	0	2
100～299	12	0	12	0	0	7
300～499	13	2	11	2	0	3
500～	6	0	6	0	0	5
合計	37	2				

(3)年間血管迷走神経反射(VVR)III度の発生件数

病床数	血管迷走神経反射(VVR)III度の発生件数/年					未回答
	施設数	発生総数	0	1～4	5～9	
0	0	0	0	0	0	0
1～19	0	0	0	0	0	1
20～99	6	2	6	0	0	2
100～299	7	0	7	0	0	12
300～499	13	0	13	0	0	3
500～	5	0	5	0	0	6
合計	31	2				

23)血漿分画製剤の使用実績について

1-192. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、血漿分画製剤を使用しましたか(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
1 はい	100	83%
2 いいえ	20	17%
合計	120	100%
未回答	2	

1-193. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、等張アルブミン製剤(5%)を使用したか(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
1 はい	42	42%
2 いいえ	57	58%
合計	99	100%
未回答	23	

1-194. 問1-193で「1. はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、等張アルブミン製剤(5%)の総使用量を数値に換算して記入してください。(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
10000～	9	23%
5000～9999	3	8%
1000～4999	12	30%
500～999	1	3%
100～499	6	15%
0～99	9	23%
合計	40	100%
未回答	82	

1-195. 等張アルブミン製剤(5%)について過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)を使用した製剤は次のどれですか(複数回答)

選択項目	件数	構成比
1 国産(採血国:日本)	15	50.0%
2 輸入(採血国:海外、献血)	6	20.0%
3 輸入(採血国:海外、非献血)	7	23.3%
4 使用実績はあるが詳細は不明	2	6.7%
5 等張アルブミン製剤の使用実績なし	0	0.0%
合計	30	100%
未回答	35	

1-196. 等張アルブミン製剤(5%)の過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の使用実績(100床以上対象期間)

施設数	使用量(床換算)				
	0	1～99	100～999	1000～9999	10000～
0					
1～19					
20～99					
100～299	7	4,235.0	2	3	1
300～499	7	12,909.0	3	0	4
500～	8	84,277.5	3	0	2
病床数					
合計					
未回答					

(2)年間等張製剤(5%100mL瓶、5%250mL瓶)使用量(輸入(採血国:海外、献血)

施設数	使用量(床換算)				
	0	1～99	100～999	1000～9999	10000～
0					
1～19					
20～99					
100～299	5	28,825.0	3	0	1
300～499	6	15,500.0	4	0	1
500～	7	20,912.5	5	0	1
病床数					
合計					
未回答					

(3)年間等張製剤(5%100mL瓶、5%250mL瓶)使用量(輸入(採血国:海外、非献血)

施設数	使用量(床換算)				
	0	1～99	100～999	1000～9999	10000～
0					
1～19					
20～99					
100～299	6	425.0	5	0	0
300～499	6	9,262.5	3	0	1
500～	6	28,700.0	4	0	1
病床数					
合計					
未回答					

1-197. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、高張アルブミン製剤(20%)を使用したか(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
1 はい	36	37%
2 いいえ	62	63%
合計	98	100%
未回答	24	

1-198. 問1-197で「1. はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、高張アルブミン製剤(20%)の総使用量を数値に換算して記入してください。(全施設対象期間)

選択項目	件数	構成比
10000～	4	12%
5000～9999	3	9%
1000～4999	9	27%
500～999	4	12%
100～499	9	27%
0～99	4	12%
合計	33	100%
未回答	89	

1-199. 高張アルブミン製剤(20%)について過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)を使用した製剤は次のどれですか(複数回答(100床以上対象期間))

選択項目	件数	構成比
1 国産(採血国:日本)	20	76.9%
2 輸入(採血国:海外、献血)	0	0.0%
3 輸入(採血国:海外、非献血)	3	11.5%
4 使用実績はあるが詳細は不明	3	11.5%
5 高張アルブミン製剤(20%)の使用実績なし	0	0.0%
合計	26	100%
未回答	41	

1-203. 高張アルブミン製剤(25%)について過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に使用した製剤は次のどれですか。複数回答(100床以上対象機関)

選択項目	件数	構成比
1 国産(採血国:日本)	27	67.5%
2 輸入(採血国:海外、献血)	7	17.5%
3 輸入(採血国:海外、非献血)	6	15.0%
4 使用実績はあるが詳細は不明	0	0.0%
5 高張アルブミン製剤(25%)の使用実績なし	0	0.0%
合計	40	100%
未回答	28	

1-204. 高張アルブミン製剤(25%)の過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の使用実績(100床以上対象機関)

(1)高張アルブミン製剤(25%)の使用量(g)(国産)(採血国:日本)

病床数	施設数	総使用量	使用量(g換算)				未回答
			0	0.1～99	100～999	1000～9999	
0							
1～19							
20～99							
100～299	19	50,918.8	5	1	3	9	16
300～499	6	32,277.0	2	0	0	3	12
500～	7	78,125.0	1	0	1	2	5

(2)高張アルブミン製剤(25%)の使用量(g)(輸入)(採血国:海外、献血)

病床数	施設数	総使用量	使用量(g換算)				未回答
			0	0.1～99	100～999	1000～9999	
0							
1～19							
20～99							
100～299	12	8,233.0	8	0	1	3	23
300～499	4	48,282.5	2	0	0	0	14
500～	5	11,100	4	0	0	0	7

(3)高張アルブミン製剤(25%)の使用量(g)(輸入)(採血国:海外、非献血)

病床数	施設数	総使用量	使用量(g換算)				未回答
			0	0.1～99	100～999	1000～9999	
0							
1～19							
20～99							
100～299	12	4,667	10	0	1	1	23
300～499	3	6,050.0	2	0	0	1	15
500～	6	5,787.5	5	0	0	1	6

1-200. 高張アルブミン製剤(20%)の過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の使用実績(100床以上対象機関)

病床数	施設数	総使用量	使用量(g換算)				未回答
			0	1～99	100～999	1000～9999	
0							
1～19							
20～99	9	14,450	0	0	2	7	26
100～299	5	18,480	0	0	2	3	13
300～499	5	63,690	1	1	0	1	7
500～							

(2)高張アルブミン製剤(20%)の使用量(g)(輸入)(採血国:海外、献血)

該当なし

(3)高張アルブミン製剤(20%)の使用量(g)(輸入)(採血国:海外、非献血)

病床数	施設数	総使用量	使用量(g換算)				未回答
			0	1～99	100～999	1000～9999	
0							
1～19							
20～99							
100～299	6	0	6	0	0	0	29
300～499	4	0	4	0	0	0	14
500～	3	21,930	1	0	1	0	9

1-201. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、高張アルブミン製剤(25%)を使用しましたか(全施設対象機関)

選択項目	件数	構成比
はい	58	60%
いいえ	39	40%
合計	97	100%
未回答	25	

1-202. 問1-201で「はい、はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、高張アルブミン製剤(25%)の総使用量をg数に換算して記入してください。

使用総量	303969.5g	
選択項目	件数	構成比
10000～	11	20%
5000～999	6	11%
1000～499	19	35%
500～999	5	9%
100～499	10	18%
0～99	4	7%
合計	55	100%
未回答	67	

1-210. 免疫グロブリン製剤(静注用)の過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)の使用実績
 (100床以上対象施設間)

施設数	使用量(国産)(採血国:日本)				未回答
	0	0.1～99	100～999	1000～9999	
総使用量					
病床数	0	1	23	12	7
	10	73,895.2	0	0	2

(2)年間免疫グロブリン製剤(静注用)使用量(輸入)(採血国:海外、献血)

施設数	使用量(国産)				未回答
	0	0.1～99	100～999	1000～9999	
総使用量					
病床数	0	12	0	0	23
	8	707.5	7	0	10
	6	3,460.0	5	0	6

(2)年間免疫グロブリン製剤(静注用)使用量(輸入)(採血国:海外、非献血)

施設数	使用量(国産)				未回答
	0	0.1～99	100～999	1000～9999	
総使用量					
病床数	0	12	0	0	23
	8	0.0	8	0	10
	6	3,860.0	5	0	6

1-211. 免疫グロブリン製剤(静注用)について過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に使用した製剤の適応疾患
 はどれですか(複数回答)

回答	施設数	構成比
1 重症感染症	59	33%
2 低・亜ガンマグロブリン血症	16	9%
3 特発性血小板減少性紫斑病	14	8%
4 川崎病	14	8%
5 キラン・ハレー症候群	18	10%
6 チャーグ・ストラスワーズ候群	4	2%
7 多発性筋炎	10	6%
8 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	7	4%
9 重症筋無力症	9	5%
10 スタイーヴンズ・ジョンソン症候群	6	3%
11 天疱瘡	8	5%
12 血清IgG 産下を伴う急性中耳炎および呼吸器感染症	2	1%
13 その他	10	6%
	177	

1-205. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、加熱人血漿蛋白を使用したか
 (全施設対象施設間)

選択項目	件数	構成比
1 はい	15	16%
2 いいえ	80	84%
合計	95	100%
未回答	27	

1-206. 問1-205で「はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、加熱人血漿蛋白の総
 使用量を数値に換算して記入してください(全施設対象施設間)

使用総量	件数	構成比
1000～999	2	13%
500～999	2	13%
100～499	8	53%
0～99	3	20%
合計	15	100%
未回答	0	

1-207. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で、免疫グロブリン製剤を使用しましたか
 (全施設対象施設間)

選択項目	件数	構成比
1 はい	74	77%
2 いいえ	22	23%
合計	96	100%
未回答	26	

1-208. 問1-207で「はい」の場合、過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で使用した、免疫グロブリン製剤の
 総使用量を数値に換算して記入してください(全施設対象施設間)

使用総量	件数	構成比
1万～29999	3	4%
5000～9999	3	4%
1000～4999	15	21%
100～999	25	36%
0～99	24	34%
合計	70	100%
未回答	4	

1-209. 免疫グロブリン製剤(静注用)について過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)に使用した製剤は次のどれ
 ですか(複数回答(100床以上対象施設間))

選択項目	件数	構成比
1 国産(採血国:日本)	43	87.8%
2 輸入(採血国:海外、献血)	2	4.1%
3 輸入(採血国:海外、非献血)	1	2.0%
4 使用実績はあるが詳細は不明	3	6.1%
5 免疫グロブリン製剤(静注用)の使用実績なし	0	0.0%
合計	49	100%
未回答	19	

24)インフォームド・コンセントの実施について

1-212. 輸血用血液製剤(赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 常に行っている	110	94%
2 ほぼ行っている	6	5%
3 あまり行っていない	1	1%
4 全く行っていない	0	0%
5 輸血用血液製剤の使用実績なし	0	0%
合計	117	100%
未回答	5	

1-213. 輸血用血液製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書(輸血同意書)がありますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	116	99%
2 いいえ	1	1%
3 作成中	0	0%
合計	117	100%
未回答	5	

1-214. 血漿分画製剤(アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤)の投与に際して患者又はその家族への説明を行い、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 常に行っている	94	81%
2 ほぼ行っている	10	9%
3 あまり行っていない	2	2%
4 全く行っていない	3	3%
5 血漿分画製剤の使用実績なし	7	6%
合計	116	100%
未回答	6	

1-215. 血漿分画製剤投与に際して患者又は家族へ説明し、同意を得る場合の同意書がありますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 血漿分画製剤単独の同意書がある	54	47%
2 輸血同意書にその内容が含まれている	47	41%
3 血漿分画製剤用の同意書はない	12	10%
4 作成中	2	2%
合計	115	100%
未回答	7	

1-216. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の採血国について情報提供していますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 常に行っている	6	0%
2 採血国が日本の場合行っている	0	0%
3 採血国が外国の場合行っている	4	4%
4 両方が院内採用されている製剤の場合行っている	1	1%
5 全く行っていない	88	89%
合計	99	100%
未回答	23	

1-217. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の採血国の情報を含まれていますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 含んでいる	4	4%
2 含んでいない	96	96%
合計	100	100%
未回答	22	

1-218. 血漿分画製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の献血・非献血の別について情報提供していますか(全施設対象期間)

選択項目	回答施設数	構成比
1 常にしている	9	9%
2 献血由来の場合行っている	5	5%
3 非献血の場合行っている	2	2%
4 両方が院内採用されている製剤の場合行っている	2	2%
5 全く行っていない	77	77%
6 血漿分画製剤の使用実績なし	5	5%
合計	100	100%
未回答	22	

1-219. 血漿分画製剤使用時のインフォームド・コンセント取得の際の同意書に原料血液の献血・非献血の別についての情報を含まれていますか

選択項目	回答施設数	構成比
1 含んでいる	8	8%
2 含んでいない	91	92%
合計	99	100%
未回答	23	

25)院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

1-220. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で輸血部または関連する部門で下記の採血、細胞処理、凍結、保存を行っているか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	6	5%
2 いいえ	111	95%
合計	117	100%
未回答	5	

(1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞 (2) 自家末梢血幹細胞 (3) ドナーリンパ球(アフェレーシス法)
 (4) 顆粒球採取(アフェレーシス法) (5) 自己リンパ球(アフェレーシス法)

選択項目 回答施設数 構成比
 1 はい 6 5%
 2 いいえ 111 95%
 合計 117 100%
 未回答 5

1-221. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で輸血部または関連する部門で成分採血(アフェレーシス)を行っているか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 採取した	5	83%
2 採取していない	1	17%
合計	6	100%
未回答	116	

(1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	0	0%
10～19	1	25%
1～9	2	50%
0	1	25%
合計	4	100%
未回答	1	

(2) 自家末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	2	40%
10～19	3	60%
1～9	0	0%
0	0	0%
合計	5	60%
未回答	0	

(3) ドナーリンパ球採取(アフェレーシス法)症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	0	0%
10～19	0	0%
1～9	1	25%
0	3	75%
合計	4	100%
未回答	1	

(4) 顆粒球採取(アフェレーシス法)症例数
 (5) 自己リンパ球(アフェレーシス法)症例数
 該当なし

1-222. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で輸血部または関連する部門で細胞の凍結処理・保管管理を行いましたか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	83%
2 いいえ	1	17%
合計	6	100%
未回答	116	

凍結処理・保管管理の症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	1	20%
10～19	4	80%
1～9	0	0%
0	0	0%
合計	5	80%
未回答	0	

1-223. 標準作業手順書(SOP)を作成・使用していますか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-224. 作業工程の記録をしていますか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	3	60%
2 いいえ	2	40%
合計	5	100%
未回答	117	

1-225. 特定の項目を定めたラベルを貼付して製剤を扱っていますか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-226. 輸血製剤に準じた照合を行っていますか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	3	60%
2 いいえ	2	40%
合計	5	100%
未回答	117	

1-227. 自施設でプロサイトメトリーによりGD34 陽性細胞数を測定していますか(100床以上対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 実施している	5	100%
2 実施していない	0	0%
合計	5	100%
未回答	60	

25)院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

1-220. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で輸血部または関連する部門で下記の採血、細胞処理、凍結、保存を行っているか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	6	5%
2 いいえ	111	95%
合計	117	100%
未回答	5	

(1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞 (2) 自家末梢血幹細胞 (3) ドナーリンパ球(アフェレーシス法)
 (4) 顆粒球採取(アフェレーシス法) (5) 自己リンパ球(アフェレーシス法)

選択項目 回答施設数 構成比
 1 はい 6 5%
 2 いいえ 111 95%
 合計 117 100%
 未回答 5

1-221. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)で輸血部または関連する部門で成分採血(アフェレーシス)を行っているか(全施設対象設問)

選択項目	回答施設数	構成比
1 採取した	5	83%
2 採取していない	1	17%
合計	6	100%
未回答	116	

(1) 血縁および非血縁末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	0	0%
10～19	1	25%
1～9	2	50%
0	1	25%
合計	4	100%
未回答	1	

(2) 自家末梢血幹細胞採取症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	2	40%
10～19	3	60%
1～9	0	0%
0	0	0%
合計	5	60%
未回答	0	

(3) ドナーリンパ球採取(アフェレーシス法)症例数

症例数	回答施設数	構成比
20～	0	0%
10～19	0	0%
1～9	1	25%
0	3	75%
合計	4	100%
未回答	1	

(4) 顆粒球採取(アフェレーシス法)症例数
 (5) 自己リンパ球(アフェレーシス法)症例数
 該当なし

1-233. 細胞治療専用の冷凍庫またはタンクに保存していますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-234. 凍結保存温度はどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 -80℃	2	40%
2 -135℃	0	0%
3 -150℃	0	0%
4 液体窒素タンク	3	60%
5 気相式窒素タンク	0	0%
6 その他	0	0%
合計	5	80%
未回答		

1-235. 処理後に無菌検査を行っていますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	0	0%
2 いいえ	5	100%
合計	5	100%
未回答	117	

1-236. 凍結後に無菌検査を行っていますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	0	0%
2 いいえ	5	100%
合計	5	100%
未回答	117	

1-237. 保存期間を定めていますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	3	60%
2 いいえ	2	40%
合計	5	100%
未回答	117	

保存期間		
保存年	回答施設数	構成比
10~	0	0%
1~5	3	100%
その他	0	0%
合計	3	100%
未回答	0	

1-228. CD34陽性細胞数測定でサンプル調整は何を用いていますか《100床以上対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 シングル・プラットフォーム法(ビーズ法)を用いたキット製品を使用	3	60%
2 シングル・プラットフォーム法(ビーズ法)の試薬を用いた外部検査業者	0	0%
3 デュアル・プラットフォーム法	2	40%
4 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	60	

1-229. CD34陽性細胞数測定で測定・解析は何を用いていますか《100床以上対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 自動測定・解析プログラム(ビーズ法)を用いたキット製品を使用	3	60%
2 施設でSHAGE法に基づき独自に作成した測定・解析方法	2	40%
3 施設で独自に作成した測定・解析方法(非SHAGE法)	0	0%
4 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	60	

1-230. 開放系細胞処理の場合は、細胞治療専用のクリーンベンチを用いて処理していますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-231. 凍害保護液および添加試薬は、どれですか 複数回答《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 GPI	4	50%
2 DMSO	1	13%
3 CryoSure-DMSO	0	0%
4 CryoSure-Dex40	0	0%
5 Cryoserv	0	0%
6 AB 血清	0	0%
7 アルブミン	3	38%
8 その他	0	0%
合計	8	100%

1-232. 凍結方法はどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 -80度コントロール法(簡易法)	4	80%
2 プログラムフリーザー	1	20%
3 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-242. 細胞の処理・凍結処理を行う主な職種は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	1	20%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	1	20%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	2	40%
7 薬剤師	1	20%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答		

1-243. 細胞の保管管理を行う主な職種は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	0	0%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	1	20%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	3	60%
7 薬剤師	1	20%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-244. 細胞の払い出しを行う職種は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	0	0%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	1	20%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	3	60%
7 薬剤師	1	20%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-245. 成分採血を行う場所は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部	1	20%
2 外来	1	20%
3 病棟	2	40%
4 その他	1	20%
合計	5	100%
未回答	117	

1-238. 検体保存を行っていますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	5	100%
2 いいえ	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-239. 「末梢血幹細胞動員・採取に関するガイドライン」(改訂第3版)を遵守していますか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 はい	4	80%
2 いいえ	1	20%
合計	5	100%
未回答	117	

1-240. 成分採血における血管穿刺を行う職種は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	2	40%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	3	60%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	0	0%
6 検査技師	0	0%
7 薬剤師	0	0%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答		

1-241. 成分採血のオペレーターの主な職種は下記のどれですか《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血部医師	0	0%
2 輸血部看護師	0	0%
3 診療科医師	2	40%
4 診療科看護師	0	0%
5 臨床工学技士	2	40%
6 検査技師	0	0%
7 薬剤師	1	20%
8 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答		

1-246. 成分採血時に輸血部看護師もしくは学会認定・アフェレシスナースはどこにいますか
 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	2	40%
2 連絡がつく院内	0	0%
3 不在	2	40%
4 その他	1	20%
合計	5	100%
未回答	117	

1-247. 成分採血時に診療科医師はどこにいますか 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	2	40%
2 連絡がつく院内	3	60%
3 不在	0	0%
4 その他	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

1-248. 成分採血時に輸血部医師はどこにいますか 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 採血場所	2	40%
2 連絡がつく院内	1	20%
3 不在	1	20%
4 その他	1	20%
合計	5	100%
未回答	117	

1-249. アフェレシスの機器はどれですか 複数回答 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 COBE Spectra	3	50%
2 Spectra Optia	2	33%
3 CS3000	0	0%
4 COM.TEC.(Fresenius)	1	17%
5 Hemonetics CCS	0	0%
6 その他	0	0%
合計	6	100%

1-250. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)細胞採取時に合併症および副作用が発生しましたか 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 発生した	1	20%
2 発生していない	4	80%
合計	5	100%
未回答	117	

副作用症例数

選択項目	件数	構成比
10～	0	0%
1～10	1	100%
0	0	0%
合計	1	100%

1-251. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)細胞採取時に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか
 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	0	0%
2 していない	5	100%
合計	5	100%
未回答	117	

血管迷走神経反射(VVR)症例数
 該当なし

1-252. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)細胞採取時にクエン酸中毒を経験しましたか
 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	1	25%
2 していない	3	75%
合計	4	100%
未回答	118	

クエン酸中毒症例数

選択項目	件数	構成比
10～	0	0%
1～10	1	100%
0	0	0%
合計	1	100%

1-253. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)細胞採取時に穿刺部血腫を経験しましたか
 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	0	0%
2 していない	5	100%
合計	5	100%
未回答	117	

穿刺部血腫症例数 該当なし

1-254. 過去1年間(平成27年1月～平成27年12月)細胞採取時に神経損傷を経験しましたか
 《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 した	0	0%
2 していない	5	100%
合計	5	100%
未回答	117	

神経損傷症例数 該当なし

1-255. 院内調製細胞製剤の取り違い防止策をどのように講じていますか。《全施設対象設問》

選択項目	回答施設数	構成比
1 輸血管理システムを使っている	2	40%
2 種数の担当者でダブルチェックしている	2	40%
3 担当者1人でチェックしている	1	20%
4 特に気にしていない	0	0%
合計	5	100%
未回答	117	

28) 診療所での輸血の実態について(診療所のみ回答)

1-256. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の基本理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」をご存知ですか(診療所対象設問)

選択項目	件数	構成比
1 知っている	6	86%
2 知らない	1	14%
合計	7	100%
未回答	1	

1-257. 「血液法」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」(旧薬事法)の基本理念並びに「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」について、院内に周知していますか(診療所対象設問)

選択項目	件数	構成比
1 内容をきめ十分周知している	2	28.6%
2 内容まで十分知らせていない	5	71.4%
3 全くしていない	0	0.0%
4 その他	0	0.0%
合計	7	100%
未回答	1	

1-258. 血液製剤の使用に当たり、「血液製剤の使用指針」に記載されている国の使用基準を遵守していますか(診療所対象設問)

選択項目	件数	構成比
1 ほとんどできている	4	57.1%
2 必要性は周知しているができていない	1	14.3%
3 その他	2	28.6%
合計	7	100%
未回答	1	

1-259. 血液製剤検査・不適合試験・不規則抗体スクリーニング検査の実施状況を回答してください(診療所対象設問)

選択項目	件数	構成比
1 院内のスタッフ(医師、看護師、検査技師など)が実施	1	14.3%
2 院外の検査機関に委託	4	57.1%
3 その他	2	28.6%
合計	7	100%
未回答	1	

1-260. 貴院で赤血球輸血を行っている患者の主な病態は 複数回答(診療所対象設問)

選択項目	件数	構成比
1 血液疾患に伴う慢性貧血	1	11.1%
2 腎疾患(透析、腎性貧血)	3	33.3%
3 急性出血(吐血、下血、咯血、血尿など)	2	22.2%
4 外科的出血(産科、手術、外傷など)	2	22.2%
5 その他	1	11.1%
合計	9	100%
未回答	1	